

温暖化対策 CDM/JI 事業調査 シンポジウム 2009

1997年の国連気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)で採択された京都議定書には、先進国の温室効果ガス削減目標を達成するための柔軟性措置として、「クリーン開発メカニズム(CDM)」や「共同実施(JI)」などの制度(京都メカニズム)が規定されています。

環境省では、1999年度からCDM/JI事業調査を実施し、我が国の目標達成に寄与するプロジェクトを発掘・支援するとともに、CDM/JIに関する知見を蓄積してきました。

このシンポジウムでは、我が国の事業者によるCDM/JIプロジェクトの形成支援を行うため、CDM/JIの現状・課題と次期枠組みに向けたCDM制度改善の最新の動きを紹介します。また、2008年度CDM/JI事業調査の報告を通じて、コベネフィット・アプローチ、新方法論開発・方法論改訂、プログラム型CDMなどCDM制度の発展に向けた取り組みを紹介するとともに、CDMプロジェクト形成に向けた課題等について議論を行います。

参加費無料 (事前にお申込ください)

《東京会場》

日時 2009年9月10日(木)
13:00~17:00 (12:00 受付開始)
会場 東京国際交流館 プラザ平成
3階 国際交流会議場
東京都江東区青海2-79
定員 450名

《大阪会場》

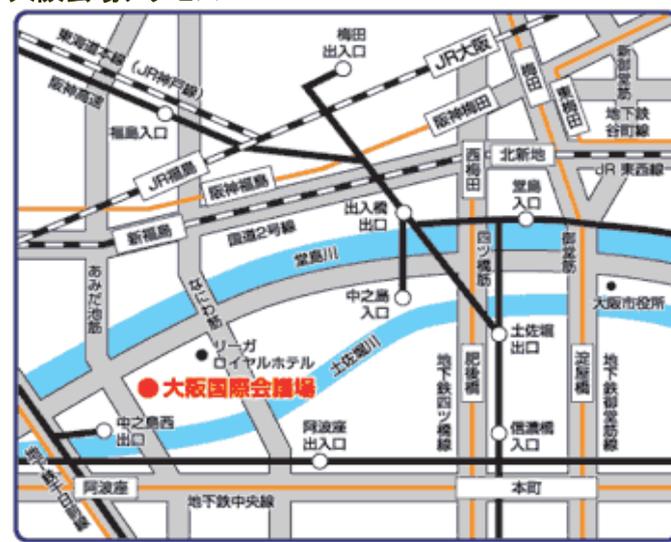
日時 2009年9月11日(金)
13:00~17:00 (12:00 受付開始)
会場 大阪国際会議場(グランキューブ大阪)
10F 会議室1001~1002
大阪市北区中之島5丁目3番51号
定員 200名

東京会場アクセス



- ゆりかもめ「船の科学館」東出口より徒歩約3分。
- りんかい線「東京テレポート」B出口より徒歩約15分

大阪会場アクセス



- 京阪電車中之島線「中之島駅」2番出口すぐ。
- JR大阪環状線「福島駅」から徒歩約10分。

ご来場には公共交通機関をご利用ください



主 催 : 環境省、(財)地球環境センター(GEC)
後援(大阪会場) : 大阪府、大阪市



東京会場 プログラム

9月10日(木) 13:00~17:00 (12:00 受付開始)

CDM/JIの現状と課題

- ・ 環境省市場メカニズム室長 戸田英作
- ### 次期枠組みに向けた CDM 改革
- ・ (財)地球環境戦略研究機関(IGES) 弥富圭介
- ### コベネフィット・アプローチによる CDM の推進
- ・ (財)地球環境センター 元田智也

2008年度 CDM/JI 事業調査報告

- (1) パシフィックコンサルタンツ(株)
「中国・廃棄物処分場からのメタンガス排出抑制 CDM 事業調査」
 - (2) (株)日本開発政策研究所
「カンボジア・ナノウアブラギリ粗精製油の発電用代替燃料利用 CDM 事業調査」
 - (3) (株)三菱総合研究所
「中国・車両工場省電力 CDM 事業調査」
 - (4) 三菱 UFJ 証券(株)
「ベトナム・太陽熱温水器普及 CDM 事業調査」
- (コメンテーター)
- ・ 平石尹彦((財)地球環境戦略研究機関)
 - ・ 明日香壽川(東北大学東北アジア研究センター 教授)
 - ・ 弥富圭介((財)地球環境戦略研究機関)

ディスカッション

(敬称略)

大阪会場 プログラム

9月11日(金) 13:00~17:00 (12:00 受付開始)

CDM/JIの現状と課題

- ・ 環境省市場メカニズム室長補佐 河村玲央
- ### 次期枠組みに向けた CDM 改革
- ・ (財)地球環境戦略研究機関(IGES) 小坏一久
- ### コベネフィット・アプローチによる CDM の推進
- ・ (財)地球環境センター 元田智也

2008年度 CDM/JI 事業調査報告

- (1) イー・アンド・イー ソリューションズ(株)
「中国・コークス工場廃ガス利用発電 CDM 事業調査」
 - (2) みずほ情報総研(株)
「中国・河北省におけるコークス炉ガスによる直接還元鉄製造 CDM 事業調査」
 - (3) (株)KRI
「タイ・ピピドーン島における燃料電池を用いたバイオマス発電システム CDM 事業調査」
 - (4) 中国電力(株)
「フィリピン・かんがい水路活用再生可能エネルギープログラム CDM 調査」
- (コメンテーター)
- ・ 平石尹彦((財)地球環境戦略研究機関)
 - ・ 明日香壽川(東北大学東北アジア研究センター 教授)
 - ・ 小坏一久((財)地球環境戦略研究機関)

ディスカッション

(敬称略)

■参加申込方法

参加希望会場、氏名、所属団体名、連絡先(電話番号、Eメールアドレスなど)をご記入の上、下記申込先まで(ホームページから、もしくはEメール、FAXにて)お申し込みください。尚、参加証・登録証は発行しませんので、あらかじめご了承ください。各会場とも、定員になり次第、受付を終了させていただきます。

申込・問合せ先: (財)地球環境センター「CDMシンポジウム」係 (申込締切:9月3日(木))

ホームページ: <http://gec.jp/jp> Eメール: cdm-fs@gec.jp TEL: 06-6915-4122 FAX: 06-6915-0181

※本シンポジウムでは、資源節約のため、当日の講演内容資料(印刷物)の配布は行いませんのでご了承ください。
講演内容資料は、シンポジウム開催までに上記ホームページに掲載しますので、そちらをご利用下さい。

※申し込んだ際に収集した個人情報は、本シンポジウムに関する事務連絡及び翌年度の案内送付にのみ使用し、他の目的には一切使用しません。

温暖化対策 CDM/JI 事業調査シンポジウム 2009 参加申込書(FAX 送信用)

FAX: 06-6915-0181

○ 参加希望会場: 東京 大阪

○ 氏名(ふりがな): _____ (_____)

○ 所属団体、部署: _____

○ 連絡先: _____

TEL FAX Eメール